

2026年4月1日
イオン株式会社

国内最大規模 59社約3,400名の新しい仲間を迎え 「2026年度 春期イオン入社歓迎の集い」を開催

株式会社化100年の節目に革新と挑戦に向け、自分の想いを形にする場を創出

イオンは4月1日（水）、グループ企業59社、約3,400名の新入社員を迎え、国内最大規模の合同入社式「2026年度 春期イオン入社歓迎の集い」を開催しました。

今年は本会場となる千葉・幕張会場に加え、北海道、中国四国、九州をはじめ全国11の地域拠点を繋ぎ、リアルとオンラインのハイブリッド形式で開催しました。



「2026年度 春期イオン入社歓迎の集い」では、岡田元也会長、吉田昭夫社長をはじめ、経営層より新入社員に向けて歓迎のメッセージが贈られました。また、各セッションを通じて新入社員がイオンの「共通の価値観」や「事業フィールドの広さ」に触れ、グループの一員として未来への無限の可能性を理解し、自らの想いを形にするきっかけとなる場となりました。

岡田会長は、イオングループの歩みと基本理念に立ち返り、自ら変革を起こし、革新し続ける姿勢の重要性を強調するとともに、一人ひとりが多様性を尊重しながら自分の軸を持ち、周囲に流されない強い心と独立心を備えた人材へ成長してほしいと期待を述べました。

吉田社長は、イオンが国内最大規模の企業の一つとして、日々多くのお客さまと接点を持ち、そのつながりこそが事業の源泉だと述べました。あわせて、私たちにとって最も重要なのは店頭であり、お客さまの声を直接聞ける唯一の場であるとして、「常にお客さまを基点に考えてほしい」と言葉を贈りました。

新入社員からは、「新しいサービスを提案したり始めることができるようになりたい」、「思いやりや感謝の気持ちを絶対に忘れずに、どんな人にも寄り添っていけるような社会人になりたい」など、抱負が語られました。

「2026年度 春期イオン入社歓迎の集い」の特長

- ◆株式会社化100年※の節目に、新入社員を歓迎し、イオンビールの想いを育む場
- ◆経営トップの講話・質問会を通じて「イオングループの想い」に触れる場
- ◆「イオンの基本理念」「イオングループ未来ビジョン」への理解を深める場
- ◆展示ブースでグループの取り組みや100年の歩みを紹介し、理解を深める場

イオンはこれからも、新しく迎えた仲間とともに「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。イオンは、小売業が平和産業であり、人間産業であり、地域産業であると信じ、その使命を果たす企業集団として永続するために、お客さまを原点に絶えず革新し続けてゆきます。」というイオンの基本理念を実践してまいります。

◆グループを知る展示会の様子



◆入社式 各会場の様子



北海道会場



中国四国会場



九州会場

※1926年9月に「株式会社岡田屋呉服店」として株式会社化し、2026年9月に100年を迎えます